

食品安全委員会（第498回会合）議事概要

日 時：平成25年12月16日（月） 14：00～15：29

場 所：食品安全委員会大会議室

出席者：熊谷委員長ほか6名出席

傍聴者：報道2名、行政機関6名、一般5名

議事概要

（1）食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・農薬 3品目（③はポジティブリスト制度関連）

①エチプロール ②ベンチアバリカルブイソプロピル

③クレトジム

・農薬及び動物用医薬品 1品目（ポジティブリスト制度関連）

シペルメトリン

・動物用医薬品及び飼料添加物 1品目（ポジティブリスト制度関連）

ナイカルバジン

→厚生労働省及び担当委員の三森委員から説明。

農薬「エチプロール」については、現時点で、既存の評価結果に影響を及ぼす可能性があることと認められることから、農薬専門調査会で審議することとなった。

農薬「ベンチアバリカルブイソプロピル」については、今後、委員会において審議を行い、必要に応じて評価書を改訂することとなった。

農薬「クレトジム」については、農薬専門調査会において審議することとなった。

農薬及び動物用医薬品「シペルメトリン」については、まず先に農薬専門調査会で審議を行った後に動物用医薬品専門調査会において審議することとなった。

動物用医薬品及び飼料添加物「ナイカルバジン」については、肥料・飼料等専門調査会において審議することとなった。

・微生物・ウイルス 1案件

と畜場法施行規則及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行規則の改正について

→厚生労働省から説明。

今般のと畜場法施行規則及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行規則の改正により、食肉の摂取による人の健康へのリスクが高まるとは考え難いことから、人の健康に悪影響を及ぼすおそれはないと考えられ、食品安全基本法第11条第1項第2号の

人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当するものとされた。

また、リスク管理機関に対し、HACCPの適切な運用を通じて、より適切な衛生管理が行われるよう、事業者を指導・監督するよう、通知することとなった。

- ・ 遺伝子組換え食品等 1品目（評価要請の取下げ）
Aspergillus oryzae MT2181株を利用して生産されたキシラナーゼ

→厚生労働省から説明。

平成22年1月5日付けで厚生労働大臣から食品健康影響評価要請があった本品目について、取り下げられたものと認め、現在専門調査会において実施中の調査審議は中止することとなった。

（2）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

- ・ 「組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続（平成12年厚生省告示第233号）の改正」に関する審議結果の報告について

→担当委員の山添委員及び事務局から説明。

本件については、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当するとともに、同規定に関するこれまでの取扱いと同様に、意見・情報の募集手続を行わないことが確認された。

（3）食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

- ・ 食品中のヒ素及び清涼飲料水「ヒ素」の規格基準の改正に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「無機ヒ素曝露により、ヒトにおいて発がん（肺癌、膀胱癌等）が認められ、また染色体異常等の遺伝毒性がみられているが、現在得られている知見からは、ヒ素の直接的なDNAへの影響の有無について判断することはできない。また、ヒ素による発がんメカニズムについて、現時点においては知見が不足しており、発がん曝露量における閾値の有無について判断できる状況にないと判断した。」との審議結果が了承され、リスク管理機関へ通知することとなった。

また、リスク管理機関に対し、食品中のヒ素の汚染実態を把握するための調査やヒ素のリスク低減方策に関する研究等をさらに充実してもらうよう、通知することとなった。

(4) シガテラのファクトシートの作成について（報告）

→事務局から報告。

これまでに作成したファクトシートと同様に、委員会のホームページで公表することとし、今後、新たな科学的知見や情報があった場合には、随時、ファクトシートの内容を更新していくこととなった。

(5) 平成26年度食品安全モニターの募集について

→事務局から説明。

事務局において、平成26年度の食品安全モニターの募集手続を開始することとなった。

(6) 食品安全関係情報（11月16日～11月29日収集分）について

→事務局から報告。

香港食物環境衛生署食物安全センターが11月20日に公表した一般向けの月刊ニュースレター「Food Safety Focus」2013年10月号の概要を報告。